

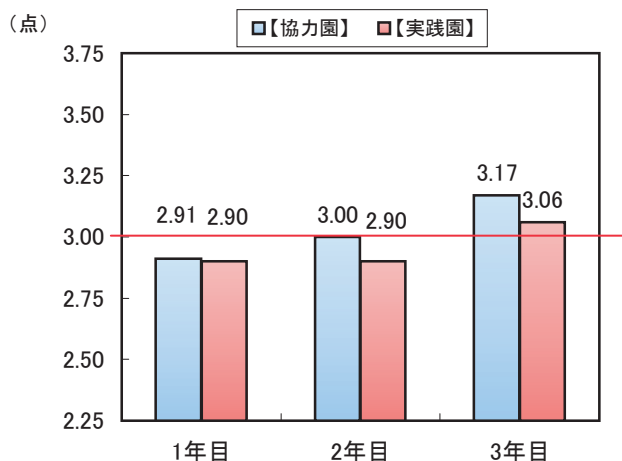
## II. 調査結果からみた幼児の体力の状況

### ◆調査2：幼児の運動能力調査の結果

#### 2-1. 事業参加年数による比較①

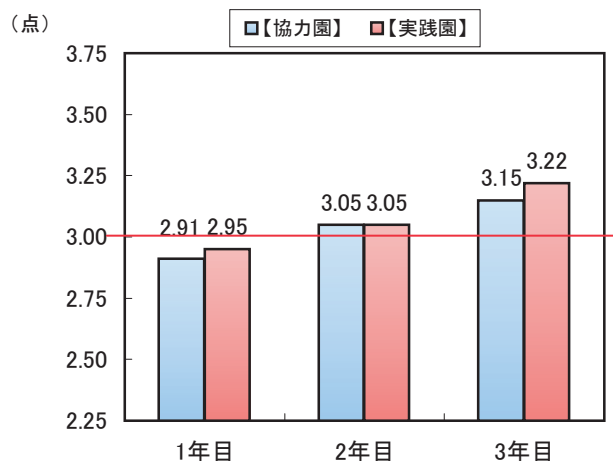
運動能力調査の結果を実践園・協力園別に時系列で比較したところ、ボール投げを除くほとんどの種目で実践園、協力園ともに1年目の得点よりも3年目の得点が高くなった。1年目に3点に満たなかった25m走、立ち幅跳びともに3年目には3点を超えた。

#### ◆25m走(往復走)



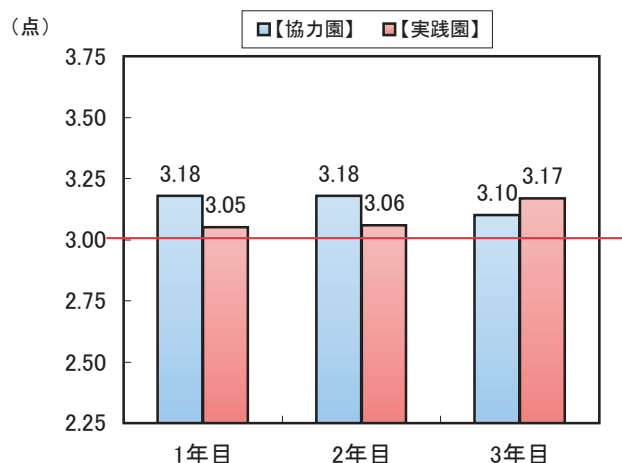
図表2-1-1

#### ◆立ち幅跳び



図表2-1-2

#### ◆ボール投げ



図表2-1-3

※得点化の方法は100～101ページ参照

<実践園・協力園と時系列についての検定結果>

	25m走(往復走)	立ち幅跳び	ボール投げ
実践園・協力園	**		**
参加年数	**	**	
実践園・協力園×参加年数			**

※分散分析を実施

\*\*：1%水準で有意 \*：5%水準で有意

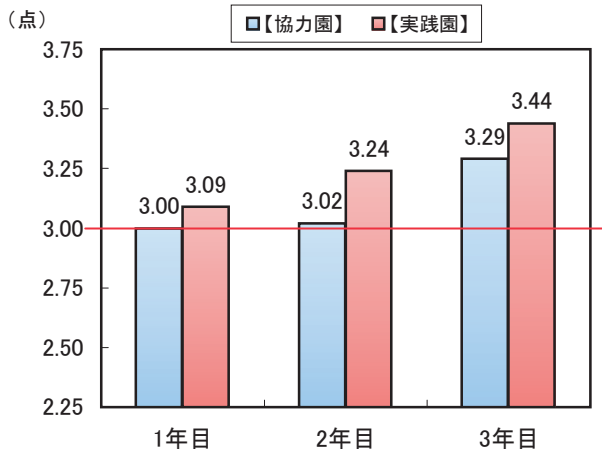
<標本数>

	25m走(往復走)			立ち幅跳び			ボール投げ		
	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目
【実践園】	3059	3055	1718	3071	3078	1740	3009	3050	1720
【協力園】	1475	1605	929	1474	1614	931	1470	1565	924

◆調査2：幼児の運動能力調査の結果  
2-2. 事業参加年数による比較②

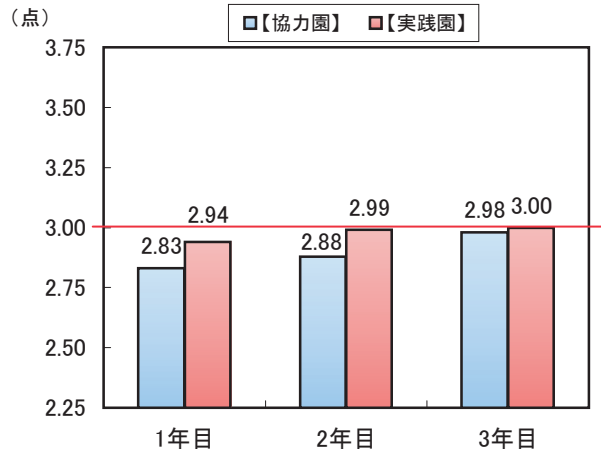
両足連続跳び越しは実践園(+0.35)、協力園(+0.29)とも参加年数とともに伸びていた。1年目に3点に満たなかった体支持持続時間は実践園(2.94→3.00)、協力園(2.83→2.98)ともほぼ3点に近づいた。捕球は1年目から3.27と平均よりも高い水準にあり、3年目も維持していた(双方+0.10)。

◆両足連続跳び越し



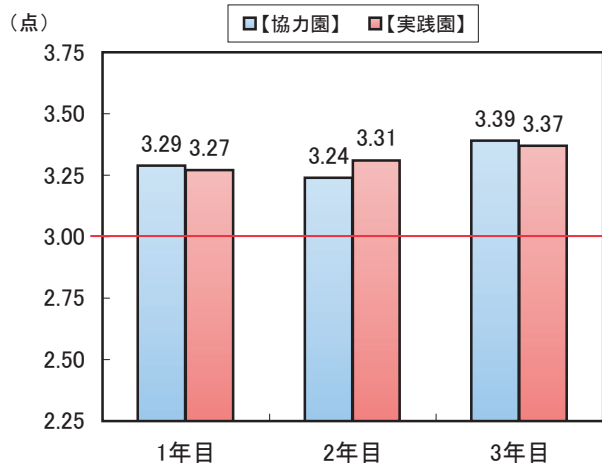
図表2-2-1

◆体支持持続時間



図表2-2-2

◆捕球



図表2-2-3

※得点化の方法は100～101ページ参照

<実践園・協力園と時系列についての検定結果>

	両足連続跳び越し	体支持持続時間	捕球
実践園・協力園	**	**	
参加年数	**	**	**
実践園・協力園×参加年数	**		*

※分散分析を実施

\*\*:1%水準で有意 \* :5%水準で有意

<標本数>

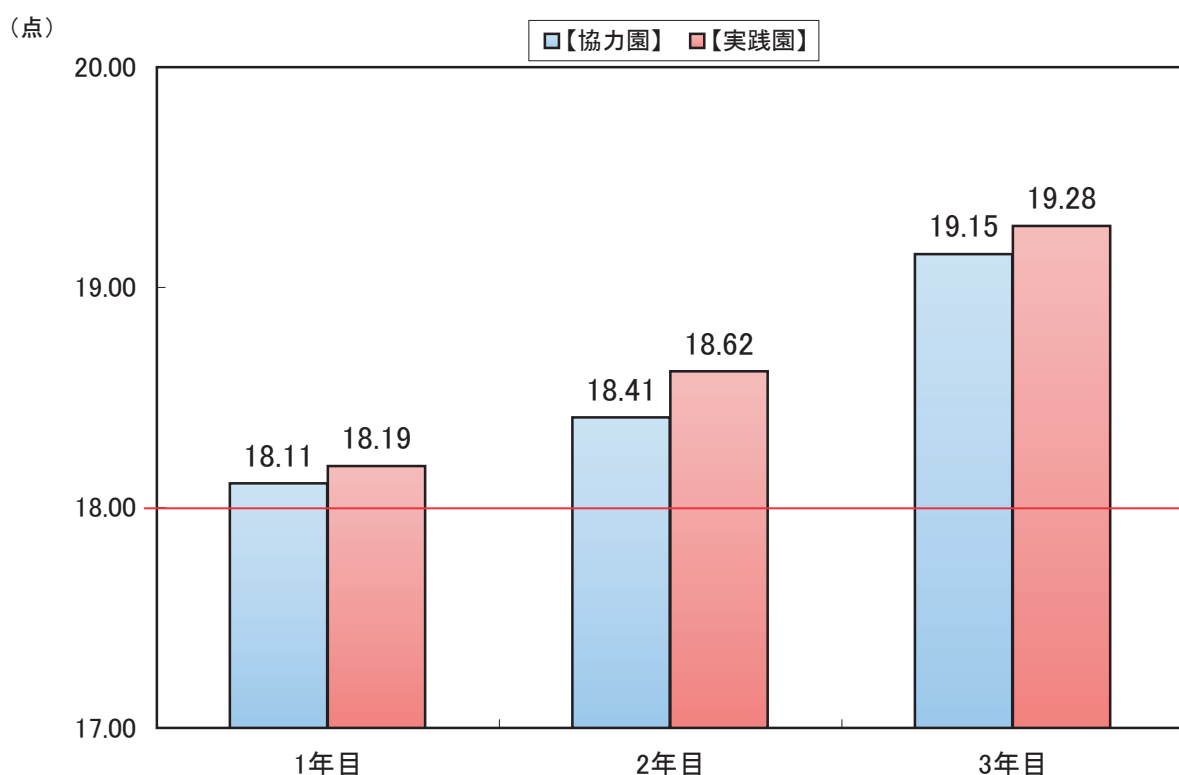
	両足連続跳び越し			体支持持続時間			捕球		
	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目
【実践園】	3035	3045	1714	3047	3021	1713	3009	3015	1738
【協力園】	1468	1591	910	1466	1596	921	1460	1562	929

## ◆調査2：幼児の運動能力調査の結果

### 2-3. 事業参加年数による比較③

運動能力調査の合計得点を実践園・協力園別に時系列で比較したところ、ともに向上していた。1年目の得点よりも2年目、2年目の得点よりも3年目の得点が高くなった。1年目から3年目の伸びをみると、実践園が+1.09であるのに対し、協力園は+1.04であった。また伸び率は実践園が6.0%増であるのに対し、協力園は5.7%増であった。

#### ◆合計得点



図表2-3-1

※前出の6種目の合計得点  
※得点化の方法は100～101ページ参照

#### <標本数>

	合計得点		
	1年目	2年目	3年目
【実践園】	2936	2896	1631
【協力園】	1420	1506	865

<実践園・協力園と時系列についての検定結果>

	合計得点	
実践園・協力園		
参加年数	**	**：1%水準で有意
実践園・協力園×参加年数		*：5%水準で有意

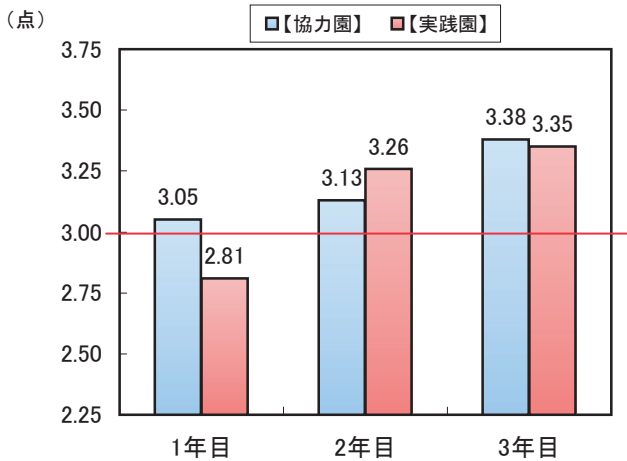
※分散分析を実施

◆調査2：幼児の運動能力調査の結果

2-4. 3年間追跡できた幼児の事業参加年数による比較①

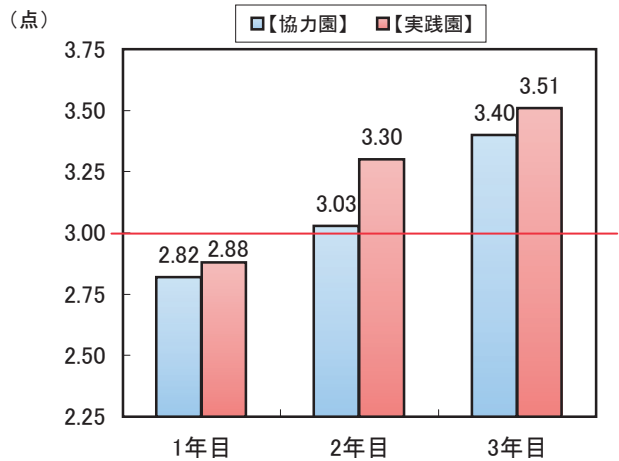
3年間追跡し、調査結果を得ることができた幼児の1年目から3年目の伸びをみると、25m走は実践園が+0.54であるのに対し、協力園は+0.33であった。立ち幅跳びは実践園が+0.63であるのに対し、協力園は+0.58であった。25m走、立ち幅跳びはともに実践園では1年目から2年目にかけての伸びの方が2年目から3年目の伸びより大きかった。ボール投げは実践園が+0.34であるのに対し、協力園は+0.06であった。協力園では2年目に伸びたものの、3年目に下がっていた。

◆25m走(往復走)



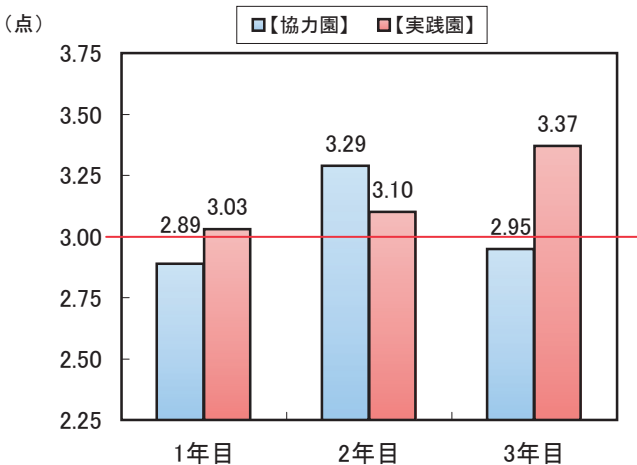
図表2-4-1

◆立ち幅跳び



図表2-4-2

◆ボール投げ



図表2-4-3

※ 3年間参加園(42園)の幼児のうち、H19,H20,H21全ての年次で体力テストが測定できた幼児を比較した。年度によって特定の種目が測定できていない場合もあるため、種目間・時系列間での標本数は完全には一致しない

※得点化の方法は100~101ページ参照

<実践園・協力園と時系列についての検定結果>

	25m走(往復走)	立ち幅跳び	ボール投げ
実践園・協力園		*	
参加年数	**	**	*
実践園・協力園×参加年数			**

※分散分析を実施

\*\*：1%水準で有意 \*：5%水準で有意

<標本数>

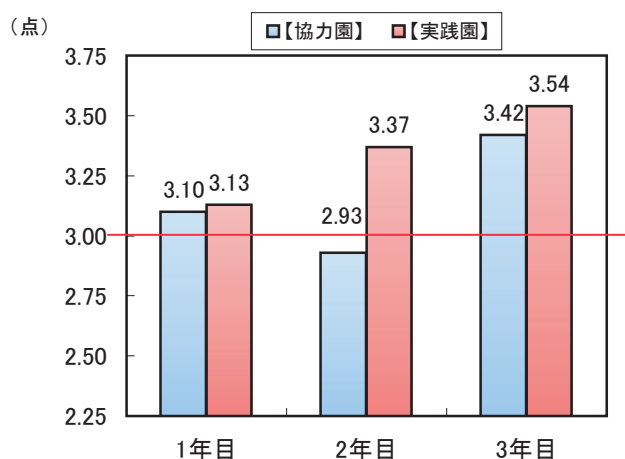
	25m走(往復走)			立ち幅跳び			ボール投げ		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
【実践園】	197	187	191	197	191	194	197	184	193
【協力園】	88	86	81	88	86	80	88	78	81

## ◆調査2：幼児の運動能力調査の結果

### 2-5. 3年間追跡できた幼児の事業参加年数による比較②

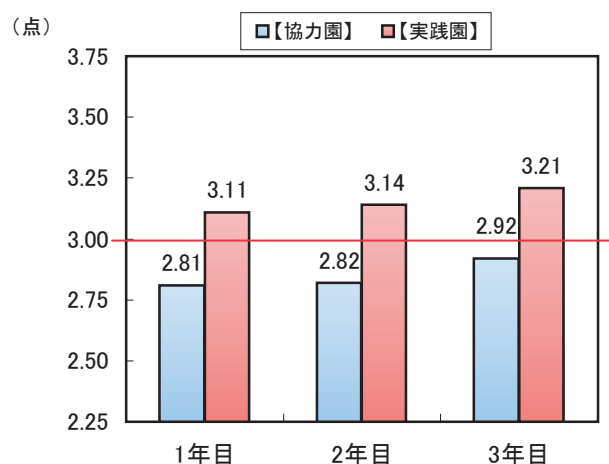
3年間追跡できた幼児について1年目から3年目の伸びをみると、両足連続跳び越しは実践園が+0.41、協力園は+0.32であった。体支持持続時間は実践園が+0.10、協力園は+0.11であった。捕球は実践園が+0.20、協力園は+0.13であった。実践園については参加年数とともに伸びていた。

#### ◆両足連続跳び越し



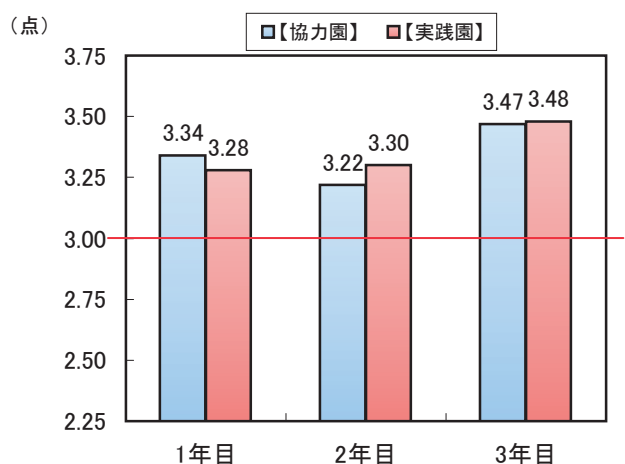
図表2-5-1

#### ◆体支持持続時間



図表2-5-2

#### ◆捕球



図表2-5-3

※ 3年間参加園(42園)の幼児のうち、H19,H20,H21全ての年次で体力テストが測定できた幼児を比較した。年度によって特定の種目が測定できていない場合もあるため、種目間・時系列間での標本数は完全には一致しない

※得点化の方法は100～101ページ参照

<実践園・協力園と時系列についての検定結果>

	両足連続跳び越し	体支持持続時間	捕球
実践園・協力園	**	**	
参加年数	**		*
実践園・協力園×参加年数			

※分散分析を実施

\*\*：1%水準で有意

\*：5%水準で有意

<標本数>

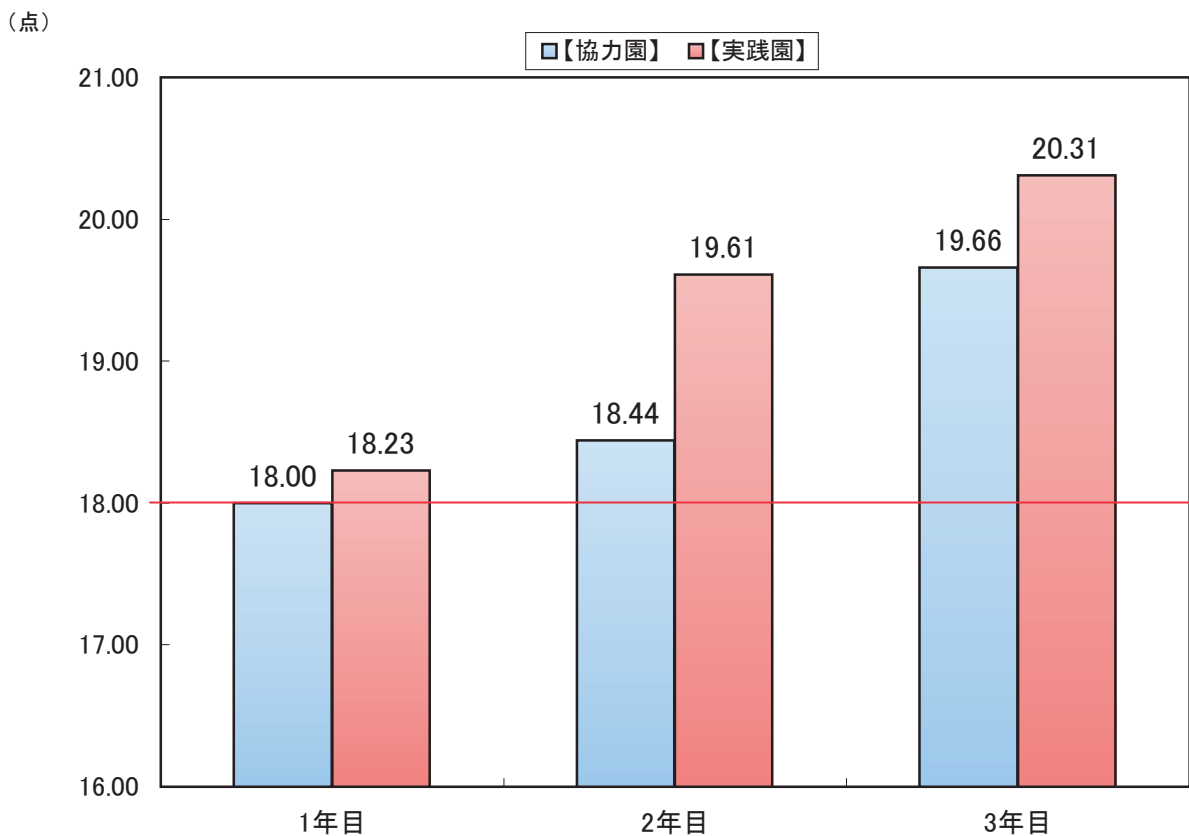
	両足連続跳び越し			体支持持続時間			捕球		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
【実践園】	197	191	194	197	184	182	197	185	194
【協力園】	88	84	81	88	85	80	88	83	79

◆調査2：幼児の運動能力調査の結果

2-6. 3年間追跡できた幼児の事業参加年数による比較③

3年間追跡できた幼児について合計得点の1年目から3年目の伸びをみると、実践園が+2.08であるのに対し、協力園は+1.66であった。また伸び率は実践園が11.4%増であるのに対し、協力園は9.2%増であった。実践園では1年目から2年目にかけての伸びの方が2年目から3年目にかけての伸びより高かった。

◆合計得点



図表2-6-1

※前出の6種目の合計得点  
※得点化の方法は100～101ページ参照

<実践園・協力園と時系列についての検定結果>

	合計得点	
実践園・協力園	*	**：1%水準で有意
参加年数	**	**：5%水準で有意
実践園・協力園×参加年数		

※分散分析を実施

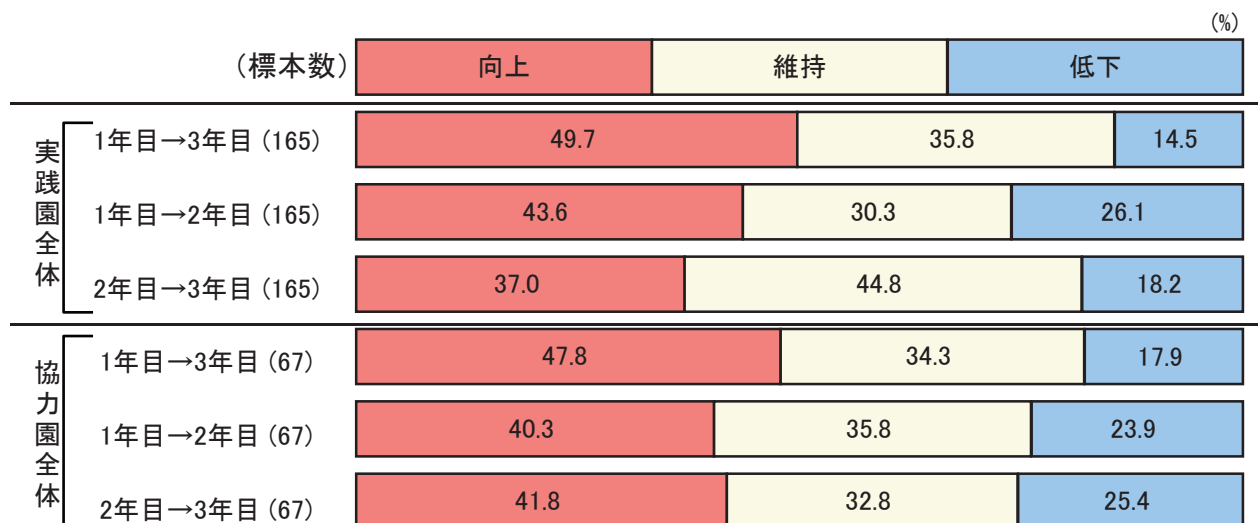
<標本数>

	合計得点		
	H19	H20	H21
【実践園】	197	178	179
【協力園】	88	79	74

## ◆調査2：幼児の運動能力調査の結果

### 2-7. 3年間追跡できた幼児の体力の変化

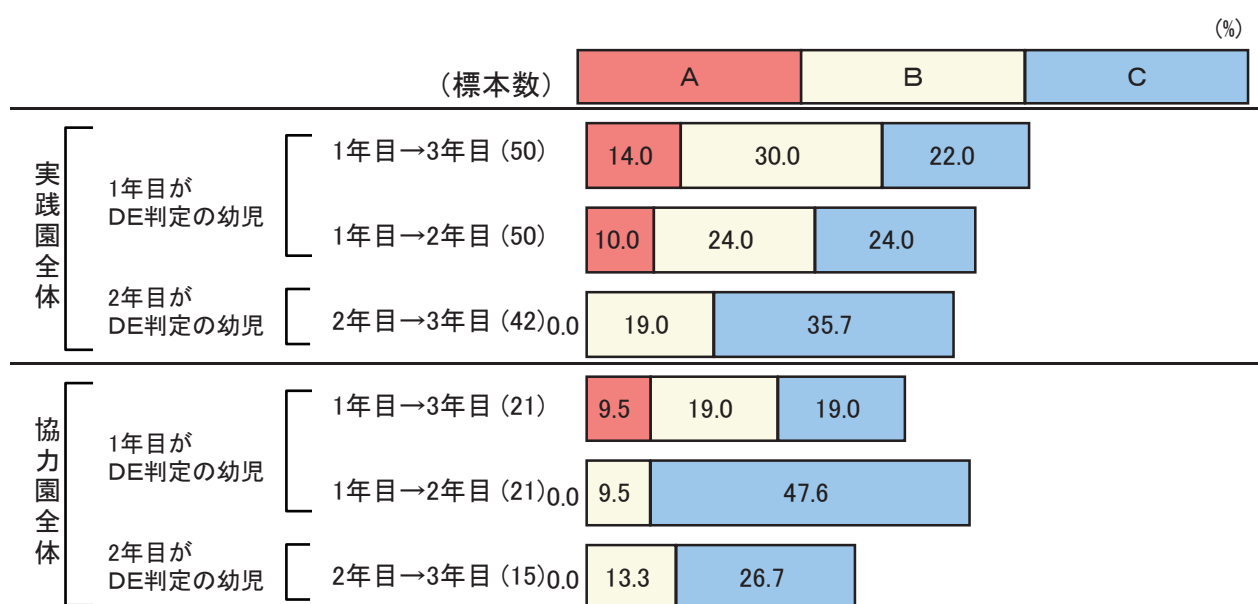
3年間追跡できた幼児の体力総合評価をA～Eの5段階とし、時系列の変化を向上・維持・低下の3つに分類した。1年目と3年目を比較すると、実践園、協力園ともに向上した幼児が約50%を占めた。



図表2-7-1

### 2-8. 3年間追跡できた幼児の体力総合評価DE判定の変化

3年間追跡できた幼児の体力総合評価をA～Eの5段階とし、DE判定からABC判定に向上した幼児の割合をみると、実践園では1年目から2年目、2年目から3年目ともに半数以上が向上し、1年目から3年目をみると66.0%が向上していた。



図表2-8-1

※協力園の標本数は30サンプルに満たないため参考値